BELLS LETTER

May.2019 VOL.027 presented by BELLS

波乗りリフォーム屋の独り言

一年ぶりのご挨拶とお詫び

元号が令和となり世間は１０連休という事ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。さてこのベルズレターですが昨年の５月以降、およそ１年の間、発行がストップしてしまいました。お客様からは「最近お手紙来ないけどどうしたの？」「お仕事辞めちゃったの？」などのご心配をお掛けしてしまいました。事前のお知らせ無しに大変申し訳ございませんでした。実はリフォーム会社を設立以来、長らく自宅の一室を事務所として営業してきましたが実店舗の必要性を感じつつ予てより打ち合わせスペースのある事務所に移ろうと考えていました。そんな矢先、昨年の１月にいい物件（土地）が見つかりそこに店舗兼住居を建てるという計画がトントン拍子に進んでいきました。新築の経験はありませんでしたがこの話が浮上して以来「自分の住む家は自分で建てたい！」という気持ちがふつふつと湧き出てきました。ただ普段受注している工事の片手間に新築工事を行えるほど簡単な事ではありませんし、何より同時に行うお客様からいただいた工事がおろそかになってしまうのではという危険性を強く感じていました。これが正しい判断なのかどうか悩みぬいた末、新築工事中は通常業務を一時停止して行う事に決めました。あとでお話しますが、今回の土地は地元の設備業者の資材置き場として使われていた場所で、電気、水道などのライフラインが一切なく、またお隣の敷地との間に高低差があり、土地の造成工事が必要でした。そんな外回りの工事が昨年６月から着工しました。建物本体の建築工事が始まったのは外回りの工事が終わった９月からでその頃から通常業務を停止させていただきました。その９月以降から今まで多くのお客様からのご相談がありましたがご希望に添えなかった事を心よりお詫び申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。

新築工事

施主と施工者が同じ珍しい工事看板

「皆様から頂いた時間を無駄にはできない！」「やるからには納得いくまでとことんやり抜く！」を胸にこの１年間休み無しで頑張ってきました。（大げさではなく本当です。）ここではそんな１年を振り返りざっと皆様に工事をご紹介したいと思います。まずは土地の造成です。先ほどもお話しましたが今回購入した土地は地元の設備業者の資材置き場。小さな倉庫が建っていてその周りには解体した便器や洗面台、ガラが山積み。通りに面したいい場所でしたががこうした状況で長らく売れなかった土地です。これらを解体処分した後、お隣の敷地との法面を無くす為、土留めの RC 擁壁を作ります。さらに新たに電気、水道、ガスの引き込み、更に敷地内に立っている電柱の移設まで、何から何までが初めての工事で家が上棟する前にこれだけの事をやらなければいけない厄介な物件でしたが、人通りのある道に面した立地条件で商売をするにはうってつけの場所、気合が入ります！更地になったら今度は地盤改良です。湘南はよく砂地と言いますが、本当にサラッサラの砂でびっくり！運動場の砂場と同じで、擁壁工事の際、仮設の土留めを作るのに大変苦労しました。

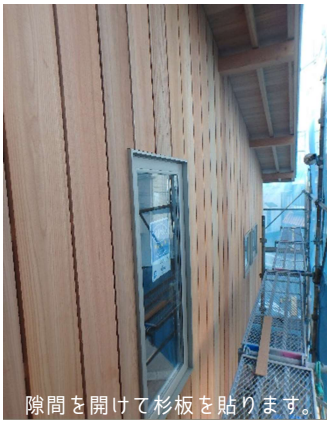
資材置き場というよりはゴミ捨て場？

地中深く穴を掘りセメントを流し込んで地盤を補強

続いて基礎工事です。基礎工事は現場管理はほとんどありませんが、事前の計画が重要です。アンカーボルト（基礎と土台をつなぐ為のボルト）をどこにいくつ入れるのかを決めます。建物の角はもちろん、耐震金具や筋交いが入っている箇所等、図面とにらめっこです。そしていよいよ上棟をむかえます。近年木造住宅の骨組みは全て工場でプレカットされて現場に搬入されます。上棟の日は大工 6～7人が集まりその骨組みを1日で立ち上げ家の形にする新築工事の1番の見せ場です。目の前の道路はそれなりに交通量があり、事前に警察に道路使用許可をとり当日自分は交通整理にあたります。またスムーズに工事が流れるよう朝一は1階の材料、10時に2階の材料、といった具合に3便に分けた材料を積んだトラックの搬入の段取りをするのも現場監督である自分の重要な仕事です。さて無事に上棟を終えたところまでは良かったのですがそのあと悲劇が襲います。上棟したのは9月ですが、昨年の9月はひどい秋雨で完全に晴れた日は上棟日を含めて2日だけ、あとは全て雨でした。その為屋根工事が思うように進まず防水シートは施工したものの、その上に正式な金属屋根が施工出来ず、雨がダダ漏れ状態。2階の床は水浸しでベニヤが水を吸って真っ黒に変色。屋根全体をブルーシートで覆い養生したものの完全に雨は防げず、床に溜まった水をひたすらスポンジで吸い取る毎日でした。大工工事も大幅に遅れ、今振り返ると現場の状況も精神的にもこの時期が一番しんどかったのを覚えています。（涙）ただ嘆いていても仕方ありません、歯を食いしばって前を向きます！10 月になり徐々に天候が安定してきたところで窓の取り付けが始まりました。今までの遅れを取り戻すぞと言わんばかりに気が付けば自ら足場にのぼり、サッシまわりの防水テープを貼っていました。外壁の工事では一番重要な作業で窓まわりからの雨の侵入を防ぎます。また屋根工事の際も屋根に上り、特に天窓の施工時は現場に張り付いてきっちり指示を出し雨漏り対策に万全を期しました。自社施工ゆえ完成後、建物の瑕疵は誰も責任をとってくれません。保険に入っていますが手直し工事をするのもまた自社となります。外壁・屋根が仕上がるまで気の抜けない作業が続きます。そして建物でこだわった部分の一つが外壁です。杉板を縦に隙間を開けて貼り、その隙間の上に細い胴縁を貼って仕上げるやり方を採用しました。経年で木が伸縮しますが、この隙間で吸収します。隙間は胴縁で隠れるので表面は変わりません。さらに部分的に取り換えが必要になった場合も簡単に張り替えられ、尚且つ表面に凹凸ができ見た目もいいと一石二鳥！経年変化で赤身の木肌が徐々にシルバーグレーに変色するのも楽しみの一つです！ちなみにこの杉板は2階部分で、1階部分はモルタルの素地仕上げです。通常モルタルは下地に使う材料、普通はこの上に塗装をかけたり、左官で仕上げたりしますが今回は下地のまま仕上げ。味のある外壁としました。時間がかかりましたがようやく外回りの工事が完了しました。通りがかりの人が皆振り返り「いいお家だね～。」とほめて下さり笑みがこぼれます。気が付けば12月。悪夢だった9月が遠い昔のように感じられた瞬間でした。

道路側から材料を引き上げ電線の上を通して搬入する
アクロバティックなクレーン技術にただただ感嘆！

高所恐怖症ですがヘルメット
腰には安全帯を付け自ら作業


隙間を開けて杉板を貼ります。

その隙間の上に胴縁を打って仕上げ。いい感じになりました！

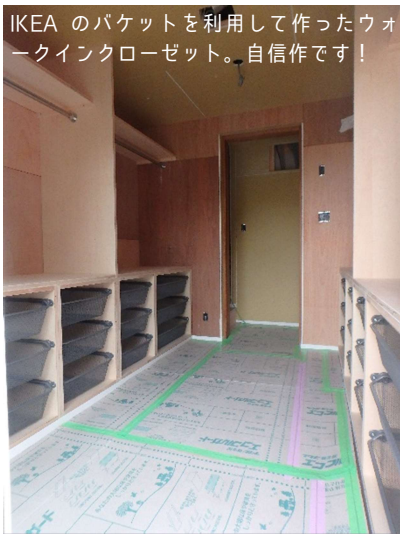
さぁ～外壁が終わり室内の工事に取りかかります。まず初めに断熱の工事です。今回はセルロースファイバーと言って古新聞などの木質繊維を主原料とした断熱材を採用しました。断熱材の性能としては普段使い慣れているグラスウールとさほど変わりませんが、吹付作業で行う為、隙間なく断熱材を敷き詰められるというメリットがあります。またセルロース自体に湿気を吸放出する特性があり内部結露を防ぐ効果もあります。室内が丸肌の状態でない

屋根裏、壁とパンパンに膨れ上がるほど詰め込んでもらったセルロースファイバー

とできない工法なだけに普段のリフォーム工事ではなかなか扱えず今回は試験的に採用しました。結果大満足！断熱効果はもちろん、外からの騒音もかなり抑えられることが分かり、急遽事務所の天井にも施工してもらいました。(事務所の上がリビングの為、生活音が気になり)断熱工事が終わりいよいよ室内の仕上げ作業です。室内工事は普段やっているリフォーム工事と変わらないからお手の物！とはいきません。室内のこだわりとして、今回既製品は一切使わないと決めました。出入口のドア、収納に始まり、水回りのキッチン、お風呂、洗面台と、全て自ら設計し手作りで仕上げる事としました。室内のコンセプトは「木のぬくもりが感じられる居心地の良い空間づくり！」です。外壁同様に時間が経つにつれ味わいの増す仕上げに。言うのは簡単ですが、実際は工期も遅れ気味で３月完成が微妙な状況。通常であれば工場で作られたキッチンや洗面台、収納などを現地で取り付けるだけで済むところを一から作らなければいけません。大工工事は天井、壁を仕上げている真っただ中、まだ家具を作る余裕はありません。全体の工期を考えると「今のままでは終わらない、家具類は全て自分で作ろう！」年明け１月の決断でした。幸い家具類を設計したのは自分自身ですので詳細は全て頭の中に入っています。材料は材木屋に図面を送り全てカットしてもらい、後はそれをひたすら現場で組み立てていきます。次に組みあがった箱を指定の場所に固定していきます。レーザー水平器を使ってレベルを出し、天井、壁、床にビスで固定していきます。家具組み立て作業も中盤に差し掛かると釘を打つ音もリズミカルになりなんだか職人になった気分♪もともと実家は建具屋で自分は３代目、作業していく中で体の中の職人の DNA が覚醒したのでは！と感じる日々でした。

箱でいっぱいになってしまったリビング

１階事務所のカタログ収納スペース。


IKEA のバケットを利用して作ったウォークインクローゼット。自信作です！

北側の天窓は効果的！２階洗面台、鏡も造りつけました。

２階リビングのコーナー収納。出窓部分はベンチとして腰掛けられます。

キッチン背面のカップボード。冷蔵庫スペースも予め確保。

とにかくひたすら作り続けた家具工事。今回ご紹介しましたお写真はその一部で、玄関収納、キッチン等も含めると家全体で１４か所もの家具（箱）を一人で組み上げました。組み立てた後の塗装ももちろん自分で行います。

２階リビングの吹き抜けは足場を組んで作業します。

最終的な仕上げはこの箱に合わせて建具の職人が扉や引出しを取り付けて完成となります。完成後のお写真はまた次の機会にご紹介しますが手間のかかった分、既製品にはない温かみのある空間に仕上げる事が出来ました！そして最後は内装工事です。今回１階事務所と２階リビングは奮発して塗り壁仕上げとしました。もともと敷地は南東に視界がひらけていて、この家の特等席。この南東角に事務所とリビングを配置したので内装工事にも力が入ります。職人の流れるようなコテさばきで壁が瞬く間に仕上がっていきました。

内装が仕上がると最後に照明器具を取り付けて完成となります。前回のベルズレターVol.26（１年前ですみません涙・・・）でも取り上げましたが今回自宅という事で照明計画も試験的なプランで試みました。（失敗しても自己責任）この辺も機会をみてまたご紹介したいと思います。さて何とか滑り込みセーフといった感じで完了検査を終え無事に引っ越しを終える事が出来ました。矢継ぎ早にこの１年（新築工事の流れ）を振り返ってみましたがいかがだったでしょうか。「仕事もしないで何やってんだ！」「自宅だからって力入れすぎ！」と思われる方がいるかもしれませんが確かにその通りです。ただ「自分の住む家は自分で建てたい！」という今回の決断はただ好みの家を建てたいという事だけではありません。普段行っているリフォームという仕事はお家を部分的に手を加える作業です。全面的な改修工事もありますがあくまで基礎や軸組は既存のままがほとんどです。この仕事を始めて 20 年近くなりますが、家づくり全てが分かっているかと自問自答すると、分かっているつもりで断片的な理解でしかない事に気が付きます。今までその分からない点は都度大工や職人に確認して対応してきました。今回の新築工事、上棟前の土地の造成から全ての工程においてひつこく首を突っ込んで対応してきました。（現場監督だけでは物足りず、自ら作業するほどに！）その結果今まで断片的だった知識、点と点が一つの線となり建物全体の理解をより一層深める事が出来ました。「大変な事になるがとことんやってやろう！」と決断してから早１年、思い返せば予想以上に大変でつらい場面も多々ありました。大好きなサーフィンも去年の夏からやっていません、白髪も増えました、何だか自虐ネタになってきましたが・・・(笑）ただそれ以上に得るものがたくさんありました。あとは今回得た知識と経験を皆様にお伝えしてこれからの仕事に役立てるだけです！　さて話を工事に戻しますが、とりあえず建物は完成して引っ越しを終える事は出来ましたが、外構工事が残っています。敷地内に植栽を植えたり駐車スペースの整備をしたりと。建物のまわりに緑が配置されると雰囲気がぐっと良くなるのであともうひと踏ん張りです。今月末から着工予定ですので完全な完成は梅雨明け以降となりそうです。元号が令和元年という事ですが「新生ベルズ元年」でもあります。日本にとっても自分自身にとっても新しい時代の幕開けです！心機一転頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます！

建物のアクセントにもなっている南東角の出窓
目の前の通りのポールポジションです！

駐車スペースを確保する為、1階を引っ込めました。

事務所移転のお知らせ

下記の住所に移転しました。事務所の正式なオープンは外構工事（駐車場）が完成後となりますが、すでに通常営業を行っております。次回のベルズレター（8 月発行予定）では正式な事務所移転のご案内が出来ると思います。新生ベルズを宜しくお願い致します！

新事務所
〒253-0024
神奈川県茅ケ崎市平和町 12-22-2
TEL 0467-91-9146
FAX 0467-67-9623

BELLS
REFORM & RENOVATION